

標

物事を決めるとき、皆さんはどのような方法をとられますか？多くの話し合いの場では、多数決が使われることがほとんどだと思います。もしかしら多数決も取らず、声が多い人が決めたことに従うということがまかり通っている場合もあるかもしれません。

藤田 美保 認定NPO法人 箕面こどもの森学園校長



「多数決＝民主主義」だと言う人もいますが、本当は民主主義ってもっと違うものだと思います。自分の主張と相手の主張が違ったとき、心がざわさわわします。そんなとき、私たちは「自分が正しくて相手が間違っている」と思ってしまうが、場などを述べ合った後、その場ではなくて、

「多人数決」民主主義」合わせていくことが対話であり、そうやって形成される社会が民主的ではないでしょうか。市民社会が成熟している国オランダには、「浮動面」という言葉があるそうです。意見が対立したとき、お互いの気持ちや考えや立場などを述べ合った後、

「多人数決」民主主義」合わせていくことが対話であり、そうやって形成される社会が民主的ではないでしょうか。市民社会が成熟している国オランダには、「浮動面」という言葉があるそうです。意見が対立したとき、お互いの気持ちや考えや立場などを述べ合った後、

脱・多数決のススメ ～民主的に生きる人を育むために～

この欄に対する感想(400字以内)をお寄せください。採用、掲載分には図書カードをプレゼントします。

【標】編集部